

# きのくに コミュニティ スクール

vol.08 | 串本町

「きのくにコミュニティスクール」とは、学校運営協議会を設置した学校(コミュニティ・スクール)とそれを支える既存の「共育コミュニティ」等との連携・協働により、社会総掛かりで教育を実現する仕組みです。

串本町は、平成29年度から町内全小中学校において、学校運営協議会を設置し、学校と地域との連携・協働により、「地域とともにある学校」をめざして取組を進めてきました。過疎・少子高齢化は当町も例外ではありませんが、学校と地域が連携・協働することにより、次世代を担う子供たちが地域活動に参加する機会が増えました。「子どもたちが参加することで地域が元気になる」、「子どもたちは地域の元気の素や」との声も聞かれるようになり、学校運営協議会の取組が、学校だけではなく地域の活性化につながることを皆が実感しつつあります。

その中の一つである古座小学校では、地域を代表する方々が委員となり、学校の運営や課題等に意見を出し合い、活発な協議を行っています。特に、国の重要無形民俗文化財の「河内祭」を中心に、地域が誇れる郷土文化を生かした体験学習に力を入れています。

## 伝統を受け継ぎ、守っていく

古座小学校には、「河内祭」を継承し広げていきたいという地域の方々の願いがあります。郷土を愛し、郷土の伝統を大切にふるさと学習をコミュニティ・スクールに取り入れ、毎年、「河内祭」で「御舟」を装う笹飾り作りに取り組んでいます。

伝統の継承という観点から、学校では、全校児童が一緒になって取り組み、高学年から低学年へ作り方を伝えています。

「河内祭」の「御舟」は、「河内大明神」という神額をお運びする大役を担っています。地域の大切な祭に自分たちも参加しているという誇りは、子供たちの自己肯定感を高めることにつながっています。

## 伝統に触れ、学ぶ

古座小学校出身で、祭囃子を演奏できる大学生を招き、笛や獅子舞を習い始めたきっかけや、祭に参加する意義や思いなどを語っていただきました。また「河内祭御舟謡保存会」の皆さんには、「河内祭」や秋祭で歌われる「御舟謡」をご披露いただく機会を設け、貴重な体験談や独特な重厚感のある謡に、児童は興味関心を抱きながら聞き入っていました。

「きのくにコミュニティスクール」の仕組みを活用し、地域の方々とともにつくるこれらの取組を継続していくことで、郷土の素晴らしい伝統を大切に、地域社会の一員として、その発展に寄与できる児童の育成をめざします。



全校児童による「笹飾り作り」の様子

子供たちが作った「笹飾り」



大学生による笛の実演、語り部の様子

# きのくに教育めぐり



## かつらぎ町 教育委員会



かつらぎ町は、県北東部・伊都郡西部に位置し、年間を通じて様々なフルーツが栽培される町です。写真は丹生都比売神社の太鼓橋。

## 教育長挨拶

かつらぎ町教育委員会 池田 八主雄  
教育長

超スマート社会を生き抜くために、選択と正しい決定ができる力の必要性が示されています。それを踏まえ、町では豊かな自然や歴史と文化を生かして、「歴史から学ぶ」「現代を学ぶ」「未来を学ぶ」という三つの学びを大事にしています。

## 「歴史から学ぶ」ことの意義

歴史教育は、教育の中心となる知・徳・体の徳の部分です。地域の歴史を知ることは、豊かな心を育むことにつながります。例えば、今まで気にしていなかった通学路の木が、実は樹齢600年超、近畿一の楠であると、ふるさとに対する違った見方ができるようになります。また将来、異文化を理解するためには、自分の文化を理解しておく必要があります。



三谷坂ウォーク

## 「現代を学ぶ」とは

知の部分では、学力向上を、学ぶ上での基礎と位置付けています。その取組として①チャイムスタート・チャイムエンドの徹底…授業時間確保と教師の授業実践を大切にしています。②ノートの充実…家庭学習でも活用できるよう、授業の流れや自分の思い、友達の考えを書き残し、学習に生かしています。③家庭学習時間の確保…家庭学習の時間を町で統一した決まりにし、家庭でも子供に学習を促しやすくする効果を狙っています。

また、人前で簡潔明瞭に伝える力を育むため、小中学生のビブリオバトル大会を取り入れています。同時に、より読書好きになることも期待しています。

知の部分では、授業を通して子供たちが、食事・睡眠・運動の大事さを知ることにより、基本的な生活習慣を身につけていきます。



学力向上「1年生算数」



人権学習「さをり織り体験」



校内ビブリオバトル

## 「未来を学ぶ」に期待すること

町では、子供は未来からの留学生だと思っています。未来ではロボットや人工知能と仲良くしなければなりません。そのために行うのがプログラミング教育です。町では人型ロボットのペッパーをツールとして先行的に取り組んでいます。生活の中にはすでにたくさんのプログラミングがあることに気づき、子どもたちの柔軟な考え方で効率を上げる工夫ができるようになってほしいと願っています。子供も教師もとにかくチャレンジが必要です。

## 新型コロナウイルス感染症の予防 ～正しく知って予防しよう～

新型コロナウイルス感染症は、感染して症状が出現する前や無症状で経過する人から気付かないうちに感染することがありますので、学校や家庭においても、以下の感染対策へのご協力をお願いします。



正しい方法で  
こまめにしっかり  
手を洗いましょう。



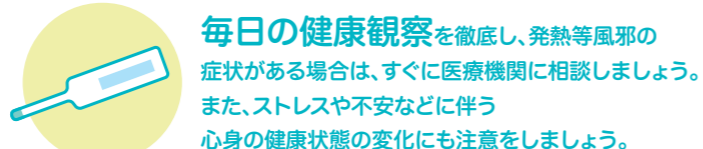
マスクを着用するなど  
咳エチケットに  
努めましょう。



窓やドアを開け  
部屋の換気を行いましょう。



他の人とは  
十分な距離をとるなど、  
密を避ける工夫をしましょう。



毎日の健康観察を徹底し、発熱等風邪の  
症状がある場合は、すぐに医療機関に相談しましょう。  
また、ストレスや不安などに伴う  
心身の健康状態の変化にも注意をしましょう。

## 東京2020オリンピック 聖火リレー

2021年3月25日に福島県から、日本全国47都道府県を回るオリンピック聖火リレーがスタートします。和歌山県は三重県から聖火を受け、全国で8番目の2021年4月9・10日の2日間で実施し、奈良県に聖火をつなぎます。

1日目  
4/9(金)

通過市町→  
①新宮市 ②那智勝浦町 ③串本町 ④白浜町  
⑤田辺市 ⑥白浜町 ※⑥白浜町については  
スポンサー実施区間です。  
⑦御坊市 ⑧有田市 ⑨海南市・和歌山市 次の日へ

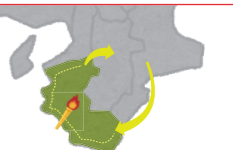
2日目  
4/10(土)

通過市町→  
①和歌山市 ②岩出市  
③紀の川市 ④かつらぎ町  
⑤高野町 ⑥橋本市 奈良県へ

セレブレーション会場：和歌山マリーナシティ第1駐車場

セレブレーション会場：橋本市運動公園多目的グラウンド

※セレブレーションの観覧者募集は終了しており、当日は当選者以外入場・観覧はできません。※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により中止となる場合があります。



■観覧・応援について  
●体調が悪い場合は、観覧をお控えください。●沿道での観覧の際は、密集を避け、マスク着用の上、大声は出さず、拍手による応援をお願いします。●聖火リレー実施の様子は、インターネットライブ中継で視聴できます。  
※その他詳細は公式HPをご覧ください。

オリンピック聖火リレー和歌山 検索